

諏訪湖まるまるごみ調査報告

令和6年11月9日(土)晴

R6年11月9日(土)朝8時より

長野県諏訪湖創生ビジョンの事業として、まるまるごみ調査及び諏訪湖清掃を実施しました。今回の参加者は下諏訪中学校の生徒・先生 103名、下諏訪社中学校の生徒・先生 4名、ガールスカウト 10名、諏訪湖 RC メンバー13名、総勢 130名での清掃活動となりました。

朝方は寒かったですが、ケガや事故など無く無事に終了することができました。また最後に振り返りとして、ゴミ調査報告を各グループ担当者に発表してもらいました。参加者全員が真剣に聞いてくれていて、改めて諏訪湖のゴミの現状を理解いただき皆さんの関心を高めることに繋がったと感じました。ご協力いただいたメンバーの皆さんありがとうございました。(社会奉仕委員会 宮坂英貴委員長)



2024-2025 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「更なる居心地の良いクラブにしよう！」 ZOOM ID : 931 6553 5678

地区大会報告

軽井沢プリンスホテルウエストにて 幹事 小笠原 仁

11月9日、10日に軽井沢で開催された2024-2025年度地区大会に参加しました。諏訪湖ロータリーからは太田会長をはじめ、総勢11名で参加してきました。

晩秋の軽井沢は朝でこそ0度まで下がりましたが、天気に恵まれ昼間は20度を超える小春日和となり、ちょうど紅葉も見ごろで気持ちのいい2日間でした。

選挙管理委員会から、ガバナーエレクトとして松本南RCの小林磨史氏が、ガバナーノミニとして飯田南RCの橋上信久氏が推挙されたことが報告されました。

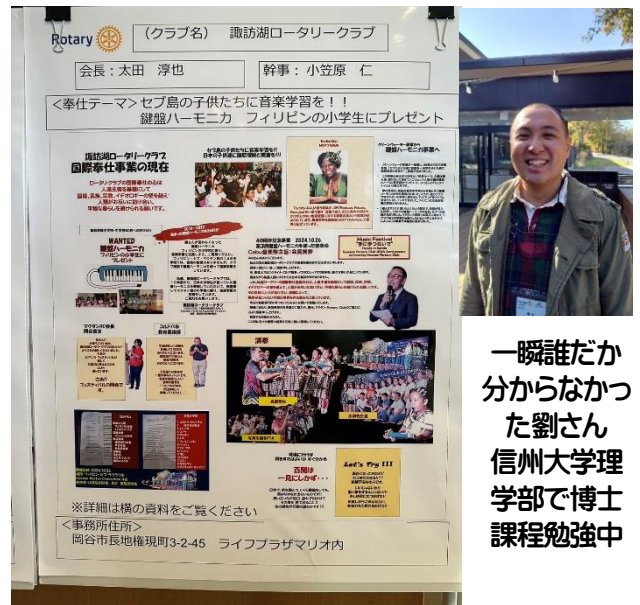
地区大会決議として、2024-2025年度国際ロータリーのテーマを推進する件など6つの議案がなされました。

そのほか、白鳥敬日瑚ガバナーから、2025-2026年度国際ロータリー会長にブラジルのデ・カマルゴ氏が選ばれたこと、また彼は毎年発表される会長テーマとロータリー・ロゴを出さない方針であるとの説明がありました。これは前代未聞のことで来年以降国際ロータリーがどのような方向に進むのか未知数な点であるとのことでした。

記念講演は1日目は元Jリーグ第5代チェアマン村井満氏でした。サッカーの未経験者である村井氏が、Jリーグの低迷した経営基盤を立て直し、売り上げ、入場者数も過去最多を記録した手腕や、人間は緊張している瞬間が大きく飛躍するチャンスであるとの興味深い持論を語られました。一人ひとりがこれから自分のため、仕事のため、ロータリーのために明日から頑張ろうという気持ちにさせられる大変感動的なお話でした。

2日目の講演は、元法政大学総長田中優子氏の「江戸から見るボランティア」という題で話されました。日本の歴史や文化、風俗の中に、ボランティアというものが必然的に育ってきた、それは仕事という形をとるが、決してお金儲けのためだけではないというもので、日本人のメンタリティーを形作っているというものでした。昨今、様々な面で日本の世界における地位が低下し萎縮している中で、日本も捨てたもんじゃない、堂々と世界で主張していい優れた素質がたくさんあるんだと、日本人であることに自信がもてる大変興味深いお話でした。

諏訪に戻り、下諏訪町内の食彩館1F「彩り」で懇親会を行い終了となりました。



一瞬誰だか
分からなかつた劉さん
信州大学理
学部で博士
課程勉強中

国際奉仕・長崎副委員長作成のパネル



元法政大学総長 田中優子氏
記念講演
「江戸から見るボランティア事
情」

